

SBF-1350CA



・特徴

真空脱ガス炉 SBF-1350CA は成型部品の真空加熱を目的とした装置です。最高加熱温度は 300℃まで短時間で昇温可能です。炉体有効寸法は約 1m³クラスありますので、大型の成型部品も処理可能です。加熱制御は、上面・左右側面・前後面・下面各々コントローラーで制御可能です。

本装置はライン工場向けに開発された装置で、加熱&排気操作は全自動型。設定温度とタイマーを設定するだけでどなたでも簡単に操作することが可能です。排気系にクライオポンプを採用しておりますので、高真空領域までの排気時間が大幅に短縮されます。

・仕様

到達圧力	×10 ⁻⁴ Pa 以下※300℃時
最高温度	350℃
有効寸法	1372mmW×795mmD×1465mmH
加熱機構	マイクロヒーター×6面
加熱制御	サイリスタ制御 PID方式温調計
真空排気系	ドライポンプ：2400L/min[50Hz] クライオポンプ：29000L/sec (H ₂ O)
真空計	大気圧検知器/ピラニ真空計/電離真空計
操作方法	自動/手動切替スイッチ 自動(全自動運転・大気開放) 手動(各ポンプ電源・各バルブ開閉・加熱電源・真空計電源) クライオポンプ再生機構 タイマー(KEEPTIME・DOWNTIME)
ユーティリティ	電気：AC200V 三相 40KVA AC100V 単相 10A 冷却水：18L/min 以上 0.1MPa 以上 0.15MPa 以下 25℃以下循環 計装エア：0.5MPa 以上 設置寸法：2600mmW×3800mmD×2100mmH
オプション	ハイブリッド記録計